

ニューズレター雪氷北信越

No.74 2000年8月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

<案内>

- ・もう一つの「南極展」(～8/27, 新潟県関川村)

<その他>

- ・ニューズレター電子メール版のお薦め

<案内>

もう一つの「南極展」

新潟県岩船郡関川村で「南極展」が開かれている。1997年に東京の国立科学博物館で開催された「南極展」と同名ではあるが趣は違う。これは、関川村在住の平田大六氏(酒造会社社長、登山家)の友人3人が最近相次いで南極観測隊(越冬)に参加したのを機に、同村「せきかわ歴史とみちの館」の特別展として企画されたものである。

その3人を時系列的にあげれば第35次(1993-95)に筆者・横山が参加、第37次(1995-97)では片桐一夫氏(長岡市)がドームふじ観測拠点で氷床の深層掘削に活躍、第39次(1997-99)では小田幸男氏(村上市)が消防関係者として初めて越冬(担当は環境保全)された。

3人の出品をもとに構成された展示は、防寒衣類をはじめ各種装備類が多く、極寒の地での生活をしのばせる。そのほかに写真、氷、岩石、書籍なども多数展示されているが、片桐氏の「ドーム33万年前の水(氷を融かした)」、小田氏のスノーモービルで牽く「木製そり(捨てるところを持ち帰り修理)」が珍しいところである。

村内には有名な豪農の館の一つ「渡辺邸」や、温泉もある。暑い夏、極寒の地に思いをはせ、またゆったりとした一日を過ごされるのはいかがでしょうか。

「南極展」 主催：関川村教育委員会、主管：関川村山の会

場所：せきかわ歴史とみちの館、新潟県岩船郡関川村下関1311 電話0254-64-1288

最寄り駅はJR米坂線・越後下関。新潟市から車で約1時間半。

展示は8月27日(日)まで、月曜日休館。

(横山理事 記)

<その他>

「ニューズレター雪氷北信越」電子メール版のお薦め

「ニューズレター雪氷北信越」は電子メールによる配信もおこなっており、現在、40名ほどの方々が利用していらっしゃいます。電子メール版は現在の郵送版にくらべて約1週間ほど早く受け取ることができるメリットに加えて、ゴミもでないので地球環境に優しい上に支部会計にも優しい方式です。この機会に試してみてもはどうでしょうか（ただし、電子メール版と郵送版の両方を受け取ることはできません）。

御希望の方は、必ず電子メールにて、met@inada.affrc.go.jp 宛に申し込んで下さい。Subject:は何でもかまいませんが、本文に電子メール版のニューズレター配信を希望する旨を明記してください。

なお、電子メール版の制限事項等は以下の通りです。

- ・記事は基本的にメール本文のアスキーテキストで送信します、添付ファイル方式は採りません。
このため、添え字や機種依存文字等の表示ができません。添え字についてはそのままとし、わかりにくい場合には脚注で対応します。機種依存文字については、文意が変わらない範囲で文字を置き換えます（例：①→(1), ☎→tel.）
- ・桁そろえのタブやインデントはスペースで代用します。この際、いわゆる半角英数字の幅が 2 バイト文字の半分である同幅フォントでの表示を前提にしてスペースを挿入します。
- ・メールは個別送信で、メーリングリストの方式は用いません。編集部宛での問い合わせ等が全会員に送付されてしまうミスを防ぐためです。
- ・図表の掲載が必要な場合には、画像ファイルをメールに添付します。画像フォーマットは GIF または JPG、添付形式は Base64 を考えています。

※なお、次号のニューズレターは2000年10月10日発行予定です。こちらの原稿は9月20日頃までにお送り下さい。

日本雪氷学会北信越支部ニューズレター

原稿送付・問い合わせ先：小南靖弘，横山宏太郎

〒943-0193 新潟県上越市稲田1-2-1 北陸農業試験場 水田利用部 気象資源研究室
tel.: 0255-26-3234 / Fax: 0255-24-8578 / E-Mail: met@inada.affrc.go.jp

